

山形美術館 平成25年度事業報告

概要

平成25年度の公益事業は、春の「池田満寿夫展 移りゆく色と形」を皮切りに、日本の近代絵画を紹介する「ウッドワン美術館所蔵名品選」、2年に一度開催している恒例の「院展 山形展」、冬には米沢市出身の画家小池隆英の個展、そして3県展を加えた7つの企画展事業と、収蔵品によるテーマ展「吉野石膏コレクションのすべて」「北斎漫画」および常設展による収蔵品展事業、また美術に関する創作活動を行っている個人・団体に対する23の展示施設貸与事業を行った。さらに収蔵品館外貸出による他機関への協力、大学生の実習生の受け入れ指導などを実施した。

これら公益事業関連の展覧会総入場者数は76,461人となった。昨年度99,419人と比較すると、企画展事業と収蔵品展事業で26,323人の減少、展示施設貸与事業で3,365人の増加、合計で22,958人の減少となった。

収益事業では、企画展に合わせた喫茶室のメニューの提供やミュージアムグッズ取扱商品の更新を実施した。

法人運営および施設管理では、1年後の開館50周年に向けた施設の検査および外壁タイルの改修工事を行なった。

1. 公益事業

①企画展事業

山形県民はじめ広く美術愛好者に国内外の優れた美術作品および関連資料を鑑賞する機会を提供する事業を行った。

4月5日—5月12日 池田満寿夫美術館所蔵 池田満寿夫展 移りゆく色と形

美術だけでなく、小説、映画など多彩な才能を發揮した版画家・池田満寿夫(1934-1997)の芸術世界を、長野市にある池田満寿夫美術館の全面的な協力のもと、銅版画、リトグラフ、ドライポイントなどの代表的な版画やオブジェなど約150点によって紹介した。会期中4月14日、21日、5月12日に担当学芸員によるギャラリー・トークや4月28日「版画の技法を試してみよう！トランシスファーとドライポイント」(協力：山形大学大学院地域教育文化研究科)、5月5日「浮かび上がる線、色、形 キャンドルホルダーを作ろう！」(協力：東北芸術工科大学教養教育センター)の教育普及事業を実施。池田満寿夫の独創的な世界に触れる機会とともに、多彩な版画表現の魅力を多面的に探った。

7月25日—8月25日 珠玉の日本近代絵画展 ウッドワン美術館所蔵名品選

ウッドワン美術館(広島県廿日市市)の近現代絵画のコレクションから、竹内栖鳳、横山大観、上村松園、錦木清方、黒田清輝、藤島武二、岡田三郎助、和田英作、青木繁、岸田劉生といった巨匠らをはじめとする日本画48点、洋画59点、計107点を展示。中でも岸田劉生《毛糸肩掛せる麗子肖像》や藤田嗣治の横10メートル近い《大地》は存在感を放った。さらに特別展示のゴッホ《農婦》では科学的分析の経緯を解説したパネルも展示し、作品がたどった歴史を紹介した。7月25日の開展式に続き、ウッドワン美術館学芸員によるギャラリー・トーク、8月4日、11日、18日には担当学芸員によるギャラリー・トークを実施し、作品の見所や時代について語った。明治以降の激動する日本画壇の歴史を多彩な作品で概観する機会とした。

8月31日—9月16日 第68回山形県総合美術展

山形県の美術振興と美術家のレベル向上を目指して毎年開催している県内最大の公募展。日本画、洋画、彫刻、工芸の4部門にあわせて669点が搬入された。福田千恵(日本画)、佐々木豊(洋画)、工藤健(彫刻)、野口裕史(工芸)の4氏によって厳正な審査が行なわれた。会場には、入賞・入選、審査員、委嘱、無鑑査の作品、東北芸術工科大学教員の招待作品をあわせ464点を展示。複数の部門に出品する作家や、作品に込めた思いが伝わる作品が目立った。今年で55回となるこども県展には、県内の園児、小学生から過去最多の14,501点の応募があった。東京造形大学准教授・石賀直之氏が子どもが実感した感情から生まれる表現をポイントに審査し、入賞・入選800点を展示。幅広い多くの県民を対象とし、秋の芸術シーズンの到来を告げる内容となった。

9月21日—9月29日 第38回山形県総合書道展

第38回県書道展には、漢字・かな・調和体・近代詩文・少字数・刻字・篆刻の7部門に、高校生から90歳代までの幅広い年代の書家・書道家から、一般公募361点、役員・会友374点をあわせ735点の作品が搬入された。県内の植松弘祥、荒木扁舟、鈴木千岳、青柳祥雲、大越松峰、岩城光伸、阿部旭祥、加藤竹水の8氏による審査の結果、県知事賞をはじめとする入賞13点、奨励賞15点、褒状30点と入選267点が厳正に選抜された。会場には入賞・入選作に審査員、役員、会友の書作を加え654点を展

示。筆先の強烈な生気を紙にぶつけた大胆な字や繊細な字、古典を踏まえた作品などが各部門にみられ、県内書壇の充実ぶりを示す内容となった。9月22日には荒木扁舟氏によるギャラリー・トークを実施した。

10月19日—11月4日 再興第98回 院展 山形展

1898(明治31)年の創立以来、近代日本画の流れを築いてきた日本美術院が開催する秋の本展を山形に巡回した。理事長の松尾敏男をはじめ、米沢市出身の故福王寺法林の次男福王寺一彦、田渕俊夫、西田俊英ら日本画壇を代表する作家から東北芸術工科大学の教員、学生、卒業生の作品など、100点を展示した。10月19日には開展式に引き続き、今井珠泉、番場三雄各氏による作品解説会、10月27日に谷善徳芸工大准教授、11月3日に福王寺一彦氏によるギャラリー・トーク、10月26日にワークショップ「日本画を楽しもう！」を実施。現代の日本画における多彩な展開を知る機会とした。

12月7日—26年1月26日 小池隆英 絵画であること

米沢市出身の画家小池隆英の美術館では初めてとなる個展として、東京藝術大学大学院時代の初期作品から最近作まで68点を展示した。薄く溶いたアクリル絵の具を大きなキャンヴァスに塗り広げた抽象的な作品は、色の存在を強調しつつ奥行きのある独特な空間を感じさせた。12月7日、1月12日には小池隆英によるアーティスト・トーク、12月15日、1月19日には担当学芸員によるギャラリー・トークを実施し、作品制作の実際や時代ごとの変化の背景、抽象絵画の見方について語った。一人の画家の探究を通じて絵画の新しい可能性を展覧した。

2月27日—3月23日 第48回山形県写真展

山形県内の写真愛好家を対象とする本展には、20歳から87歳までの604人から2,340点の一般公募作品が搬入された。デジタルカメラによる作品は84パーセントとなった。大雪の影響で2月16日のみとなった公開審査は、写真家の土田ヒロミ氏によって厳正に行なわれた。写真のモティーフの扱いや、プリントへの気配りなどを基準に、入賞12点、準入賞10点、努力賞10点、入選477点が選ばれた。会場には公募作品に、無鑑査作品を加えた529点を展示。時間をかけて取り組んだ山形の四季の風景、地域のお祭りや家族のスナップなど、写真を通して自然や人物との対話を感じさせる多彩な写真が並んだ。

②収蔵品展事業

山形美術館では、フランス近代美術、日本の美術、山形県関係美術を3本柱に美術作品および関連資料の収集と調査研究を進めている。これら収蔵品の一部を常設展示しているほか、25年度には以下のテーマ展を開催し、収蔵品を紹介した。

6月11日—6月23日 吉野石膏コレクションのすべて

吉野石膏株式会社と吉野石膏美術振興財団より当館に寄託されている絵画109点から、印象派、ポスト印象派、エコール・ド・パリまでを中心に、昨年度寄託された荻須高徳の油彩画や藤田嗣治の鉛筆画などを含む100点により、フランス近代絵画の多彩な世界を紹介した。

10月10日—10月15日 北斎漫画

山形市で2年ごとに開催する山形国際ドキュメンタリー映画祭の上映会場となる時期に合わせ、江戸時代後期を代表する浮世絵師・葛飾北斎(1760-1849)の「北斎漫画」全15編から50点を厳選して展示した。山水、人物、動植物、風俗から妖怪変化まで、森羅万象を描きつくした北斎の幅広い画業の世界に触れる機会とした。

収蔵品展事業による、本年度新収蔵品は寄贈2件、寄託5件である。山形県出身で文化勲章受章者の日本画家・福王寺法林、山形市在住の洋画家・武田広男の作品を受贈。また葛飾北斎の版本『富嶽百景』3冊、山形県出身の菅原白龍と石川確治の作品5件を受託した。今期末での寄託品を除く収蔵品件数は、基本財産収蔵品の一般正味財産(購入)505件、指定正味財産(寄贈)991件、合計1,496件となった。

③展示施設貸与事業

美術に関する創作活動を行っている個人および団体に対し、当館の展示室と展示用備品を貸与する事業を行った。25年度は、裏千家東北大会、春光会展、日展山形会展、北展、樺墨書院展、示現会山形展、毎日書道展東北山形展、山形国際ドキュメンタリー映画祭、読売書法展東北展、山形市芸文協総合展、墨華会書道展、山形大学造形芸術コース卒業修了制作展、山形

デザイン専門学校卒業進級制作展、山形県健康福祉祭美術展など、23の展覧会を開催した。

④その他

収蔵品を活用した事業や指導など以下の事業を行った。

1. 収蔵品館外貸出による他機関への協力

安曇野市豊科近代美術館とパラミタミュージアムでの「山形美術館・服部コレクション 20世紀フランス絵画展」開催のほか、「孤高の画人 小松均 最上川を描く」(致道博物館)、「生誕250周年 谷文晁展」(サントリー美術館)、「シャガール展」(北海道立近代美術館ほか)、「印象派を超えて 点描の画家たち」(国立新美術館)、「素顔の玉堂 川合玉堂と彼を支えた人びと」(岐阜県美術館)など、他機関の企画展に対し収蔵品貸出の協力を行った。

2. 山形大学院生の受け入れと指導

山形大学大学院地域教育文化研究科が外部機関と連携し実施する「文化コーディネート実習」のうち、造形コース専攻の学生2名を前期(のべ10日間)に受け入れ、池田満寿夫展、北齋漫画展を主に調査・設営・教育普及活動について指導した。

3. 博物館実習生の受け入れと指導

東北芸術工科大学2名、宮城学院女子大学3名の5名を、のべ5日間ずつ受け入れ、作品展示の方法、美術館の機能と業務概要、料の保存管理、地域における美術館のあり方などについて指導した。

4. 美術教育普及活動への協力

やまがたアートライン実行委員会が主催する夏休みこどもミュージアムめぐり事業の一環として、8月3日、10日に「夏休みミュージアム・ツアーアー2013」を実施し、参加者に美術館の役割を解説。また山形青年会議所OBの山形ビューティフルコミッショングによる「児童絵画鑑賞プログラム」を11月22日に実施。参加した子どもたちがアートナビゲーターらの指導のもと、美術鑑賞のマナーと絵の見方を体験した。また、来館の児童生徒団体で希望がある場合、館概要や作品解説を適宜行なった。

5. 吉野石膏コレクションの調査

吉野石膏コレクション作品に対する状態調査を森絵画保存修理工房と共同で、8月と3月の2回、のべ6日間実施した。作品1点ごと、作品の表裏、支持体と額の確認に加え、紫外線や赤外線による撮影などによる作品調査を行なった。これにより制作技法の特徴が明らかになるとともに、今後の作品修復の必要性を判断する基礎資料とした。

2. 収益事業

来館者を対象に美術館における豊かな時間を過ごしてもらうため、山形城址が眺められる喫茶室では、季節や企画展にあわせた新メニュー やセットメニューを提供した。また美術関係の書籍やグッズを販売するコーナーにおいて、企画展の内容にふさわしい販売物や山形ゆかりの工芸作家作品を引き続いだ取り扱った。

3. 法人運営および施設管理

平成24年度の打診検査の結果を受け、外壁タイルの改修工事を実施した。また展示室や収蔵庫の環境を維持しながら節電に引き続きつとめたほか、26年度の開館50周年に向けた施設管理の計画立案を行なった。

4. 成果と課題

本年度も企画展、収蔵品展の公益事業を当初の予定通り実施し、前述のとおり各事業の目的を達成することができた。だが東日本大震災後の停滞状況からの回復はほど遠く、入館者の回復が見込めない厳しい状況が続いている。

来年度50周年を迎えるにあたり、山形美術館の設立や活動理念を踏まえ、1)質の高い美術と出会う機会(展覧会)の提供、2)企画内容・対象者に応じた多様な教育普及事業、3)効果的な広報・宣伝、4)地域機関との連携強化などを計画・実施し、来館者および地域のニーズを踏まえた美術館活動を着実に行なっていきたい。

平成25年度 開催展覧会と入場者数

山形美術館

[企画展]

事業名	期間	入 場 者 数					主催、共催、後援など	備考
		一 般	高・大生	小・中生	会員・招待	計		
池田満寿夫美術館所蔵 池田満寿夫展 移りゆく色と形	4月5日～ 5月12日	2,476	205	89	1,066	3,836	山美、山新、山放、山形県、 県生涯学習文化財団、山形市、池田満寿夫美術館	4月14、21日、5月12日担当学 芸員によるギャラリートーク。 4月28日山形大学大学院地域教 育文化研究科と連携したワーク ショップ。5月5日東北芸術工科 大学芸員資格課程と連携した ワークショップをそれぞれ開催 した。
吉野石膏コレクションのす べて	6月11日～ 6月23日	618	65	159	234	1,076	山美、山新、山放、山形県、 県生涯学習文化財団、山形市	二階企画展示室と常設展示室を 使用して吉野石膏コレクションの ほぼすべてを一堂に展覧し た。
珠玉の日本近代絵画展 ウッドワン美術館 所蔵名品選	7月25日～ 8月25日	9,562	274	425	2,175	12,436	山美、山新、山放、山形県、 県生涯学習文化財団、県教 委、山形市、山形市教委、県 芸術文化協会、山形市芸術文 化協会、NHK山形放送局	7月25日ウッドワン美術館の森 本末和評議員、吉村美栄子県知 事、滝井潤山形市副市長らによ るテープカットおよびウッドワ ン美術館の重藤嘉代学芸員の ギャラリートークを行った。8 月4、11、18日担当学芸員によ るギャラリートーク。8月3、10 日「夏休みミュージアム・ツ アー」を開催した。
第68回山形県総合美術展	8月31日～ 9月16日	4,225	249	638	2,045	7,157	山美、山新、山放、山形県、 県生涯学習文化財団、市教 委、県美術連盟、県芸術文化 協会、県造形教育連盟、べん てる株式会社	福田千恵(日本画)、佐々木豈(洋 画)、工藤健(彫刻)、野口裕史(工 芸)の4氏による審査。こども県 展を併催。
第38回山形県総合書道展	9月21日～ 9月29日	399	21	18	1,342	1,780	山美、山新、山放、山形県、 県生涯学習文化財団、県教 委、山形市、市教委、山形県 総合書道会、山形県書道連 盟、県芸術文化協会	植松弘祥、荒木扁舟、鈴木千 廣、青柳洋平、大越松作、岩城 光伸、阿部旭祥、加藤竹水ら8 氏による審査。9月22日荒木扁 舟氏によるギャラリートークを行 った。
再興第98回院展 山形展	10月19日～ 11月4日	2,031	102	83	1,005	3,221	山美、山新、山放、山形県、 県生涯学習文化財団、山形市、 日本美術院	10月19日今井珠泉、番場三雄 両氏による開展記念作品解説 会。10月26日東北芸工大日本 画コースによるワークショッ プ。10月27日谷善徳氏、11月3 日福王寺一彦氏によるギャラ リートークを行った。
小池隆英 絵画であること	12月7日～ 1月26日	859	98	131	644	1,732	山美、山新、山放、山形県、 県生涯学習文化財団、山形市、 アキライケダギャラリー	12月7日、1月12日小池隆英氏 によるアーティストトーク。12 月15日、1月19日担当学芸員に よるギャラリートークを行 った。
第48回山形県写真展	2月27日～ 3月23日	1,478	69	70	2,937	4,554	山美、山新、山放、山形県、 県生涯学習文化財団、県教 委、山形市、市教委、山形県 写真連盟	土田ヒロミ氏による公開審査。
企画展 計(A)		21,648	1,083	1,613	11,448	35,792		

平成25年度 開催展覧会と入場者数

山形美術館

[収蔵品展など]

事 葉 名	期 間	入 場 者 数					主催、共催、後援など	備 考
		一 般	高・大 生	小・中 生	会 員・招 待	計		
北斎漫画	10月10日～10月15日	341	29	6	45	421		山形大学大学院地域教育文化研究科と連携した収蔵品展。10月13日担当した中国人留学生顧洋氏によるギャラリートークを開催した。
常設展示のみ ・巨匠の広場 ・吉野石膏コレクション室 ・新海竹太郎/竹原彫刻室 ・長谷川コレクション室 ・彫刻の小部屋	4月2日	41	5	5	3	54		
	5月14日～5月19日	414	9	-	33	456		
	5月22日～6月2日	2,136	15	21	712	2,884		
	6月4日～6月9日	78	10	108	38	234		
	6月25日	14	17	-	1	32		
	6月29日～7月7日	982	9	92	956	2,039		
	7月9日～7月15日	172	14	5	19	210		
	7月17日～7月21日	171	12	11	777	971		
	10月2日～10月6日	198	5	26	1,869	2,098		
	11月7日～11月10日	135	1	1	11	148		
	11月13日～11月17日	173	-	8	1,379	1,560		
	11月20日～12月1日	162	22	6	127	317		
	1月28日～2月23日	218	12	9	68	307		
	3月26日	10	1	3	-	14		
収蔵品展計(B)		5,245	161	301	6,038	11,745		

館主催展計(C=A+B)		26,893	1,244	1,914	17,486	47,537		
--------------	--	--------	-------	-------	--------	--------	--	--

平成25年度 開催展覧会と入場者数

山形美術館

[展示施設貸与事業など]

事 業 名	期 間		入 場 者 数					主催、共催、後援など	備 考
			一 般	高・大生	小・中 生	会員・招 待	計		
裏千家東北地区大会	5月18日～ 5月19日		1,803	-	-	-	1,803	茶道裏千家淡交会山形支部	
日 展 山 形 会 展	5月22日～ 6月2日		2,136	15	21	712	2,884	日展山形会、山形新聞・ 山形放送	
表 裝 内 裝 展	5月24日～ 5月26日		470	-	-	-	470	山形県表具内装組合連合会	
春 光 会 展	5月29日～ 6月2日		819	-	-	-	819	春光会	
創 琢 書 道 展	6月6日～ 6月9日		601	-	-	-	601	創琢書道会	
書 友 会 書 道 展	6月13日～ 6月16日		456	-	-	-	456	書友会	
北 展	6月19日～ 6月23日		358	95	36	411	900	東北現代美術協会	
山 形 県 民 ふれあい書道展	6月29日～ 7月7日		982	9	92	956	2,039	山形県民書道会	
櫻 墨 書 院 展	7月11日～ 7月15日		1,826	-	-	-	1,826	櫻墨書院	
示 現 会 山 形 展	7月17日～ 7月21日		171	12	11	777	971	示現会、示現会山形支部	
毎 日 書 道 展 東 北 山 形 展	10月2日～ 10月6日		198	5	26	1,869	2,098	毎日新聞社、毎日書道会	
山形国際トキメンタリ- 映 画 祭 2013	10月10日～ 10月15日		2,911	-	-	-	2,911	山形国際トキメンタリ-映画祭 事務局	
MOA美術館山形県 児 童 作 品 展	10月26日～ 10月27日		1,280	-	-	-	1,280	MOA美術館山形県児童作 品展実行委員会	
翔 龍 会 全 国 書 道 展	11月1日～ 11月4日		466	-	-	-	466	翔龍会	
東 邦 書 道 会 全 国 展	11月7日～ 11月10日		657	-	-	-	657	東邦書道会	
貌 売 書 法 展 東 北 展	11月13日～ 11月17日		173	-	8	1,379	1,560	貌売新聞社、貌売書法会	
北 展 (公 募)	11月20日～ 11月24日		326	7	11	467	811	東北現代美術協会	

平成25年度 開催展覧会と入場者数

山形美術館

事業名	期間	入 場 者 数					主催、共催、後援など	備考
		一般	高・大生	小・中生	会員・招待	計		
山形市芸文協 総合展覧会	11月20日～ 11月24日	2,573	-	-	-	2,573	山形市、市教委、市芸術文化協会	
墨華会書道展	11月28日～ 12月1日	1,076	-	-	-	1,076	墨華会	
山形大学造形芸術コース 卒業修了制作展	2月5日～ 2月9日	473	-	-	-	473	山形大学地域教育文化学部文化創造学科造形芸術コース	
誠筆書展	2月6日～ 2月9日	871	-	-	-	871	誠筆会	
山形デザイン専門学校卒業進級制作展	2月19日～ 2月23日	613	-	-	-	613	山形デザイン専門学校	
山形県健康福祉祭 美術展	2月20日～ 2月23日	766	-	-	-	766	山形県、山形県社会福祉協議会、山形県老人クラブ連合会	
展示施設貸与事業計 (D)		22,005	143	205	6,571	28,924		

全 展 覧 会 総 計 (B=C+D)		48,898	1,387	2,119	24,057	76,461		
---------------------------	--	--------	-------	-------	--------	--------	--	--

平成 25 年度新収蔵品リスト

平成 26 年 3 月 31 日現在

○寄贈

作者名	作品名	制作年	材質・技法	寸法(cm)
福王寺法林	雪煙のマチャプチャレ	1985	紙本・着色	122.0×171.0
武田広男	古里ライン	2003	キャンヴァス・油彩	162.0×194.0

※以上の美術品 2 件を基本財産収蔵品(不可欠特定財産)とする。

○寄託

作者名	作品名	制作年	材質・技法	寸法(cm)
菅原白龍	送別画卷	1875	紙本・墨彩	27.2×749.2
石川確治	裸婦	1920	板・油彩	42.3×21.4
葛飾北斎	富嶽百景・初編		紙・木版	22.8×15.8×1.4
葛飾北斎	富嶽百景・二偏		紙・木版	22.7×15.7×1.2
葛飾北斎	富嶽百景・三編		紙・木版	22.7×15.7×1.1

平成25年度収蔵品貸出一覧

作 者 名	作 品 名	借 受 館 又 は 借 受 者	貸 出 事 由	貸 出 期 間
コローニ ミレ	牧場の休息地、農婦と三頭の雌牛群れを連れ帰る羊飼い	ヤマザキマザック美術館	フランスの美しい風景—ロココからバルビゾン派、印象派へ—	4/16-7/22
小松 均	最上川源流(3面)など6点	致道博物館	孤高の画人 小松均「最上川」を描く	4/18-5/28
長澤蘆雪 高橋草坪 谷文晁 ほか	富士見西行図 若竹蜻蛉図 慈母観音図 など5点	山寺芭蕉記念館	⑩長谷川コレクションに見る山形の名品展	4/20-6/16
谷文晁	熊野舟行図巻 慈母観音図 海鶴蟠桃図	サントリー美術館	生誕250周年 谷文晁	6/18-9/12
シャガール	夢 天使と恋人たち	北海道立近代美術館 宮城県美術館 広島県立美術館	シャガール展	6/21-1/10
ピサロ マルケ ヴラマンク ほか	ポントワーズの橋 コンフラン=サント=オノリーヌの川船 セーヌの岸辺 など7点	ホテルオークラ東京	モネユトリロ佐伯と日仏絵画の巨匠たち フランスの美しき街と村のなかで	7/26-9/7
椿椿山	足利遊記	田原市博物館	渡辺崑山・椿椿山が描く花・鳥・動物の美	8/30-11/1
モニスレー	サン・ゼルマンの森の中でモレのポプラ並木	国立新美術館	印象派を超えて—点描の画家たち ゴッホ、スーラからモンドリアンまで	9/25-12/25
モニスレー	ヴェルノン教会の眺め ヴェトウイユ、サン=マルタン島からの眺め モレ=シュル=ロワン	東京富士美術館 福岡市博物館 京都文化博物館	光の讃歌 印象派展	10/4- 「ヴェルノン教会の眺め」1/17
菅原白龍 作者不詳	栗子峠写生画帖 ナイアガラ瀑布図	霞会館 明治神宮文化館	明治天皇百年祭記念 第二回 「明治天皇六大巡幸」展	10/4-11/28
ピカソ ルノワール ほか	青い背景の婦人像 幼年期 など61点	安曇野市豊科近代美術館	新館竣工記念 20世紀フランス絵画展 山形美術館・服部コレクション	10/21-12/11

平成 25 年度収蔵品貸出一覧

作 者 名	作 品 名	借 受 館 又 は 借 受 者	貸 出 事 由	貸 出 期 間
川合玉堂	細 雨	岐 阜 県 美 術 館	素顔の玉堂 -川合玉堂と彼を支えた人びと-	10/27-12/18
ルノワール シスレー モネ ピサロ	桃 マントからシュワジール＝ロワへの道 ジヴェルニー付近の リメツの草原 草を摘む農婦	岡山県立美術館 パナソニック汐留ミュージアム アートインプレッション	フランス印象派の陶磁器 1866 - 1886	12/12-
シャガール	グランド・パレード	静岡市美術館 愛知県美術館	シ ャ ガ ー ル 展	12/20-
コロ ミレー ゴッホ	浅瀬を渡る山羊の番人 バター作りの女 雪原で薪を集める人びと	下関市立美術館 郡山市立美術館 損保ジャパン東郷青児美術館	近代自然主義絵画の成立 オランダ・ハーグ派展	12/21-
高橋由一	鮭	栃木県立美術館 香川県立ミュージアム	日本近代洋画への道	1/7-
市原円潭 石川押山 大瀧雨山 大瀧月窓	驚枯富花 木秋鳥 士景 図 図 図 図 など8点	鶴岡アートフォーラム	庄内の美術家たち9 ～市原円潭と文人画の系譜	1/21-
福王寺法林	祈る高砂族	鶴岡アートフォーラム	山形の巨星 福王寺法林回顧展・ 意志を継ぐ者 福王寺一彦展	1/21-
ピカソ ほか	青い背景の婦人像 など60点	パラミタミュージアム	山形美術館・服部コレクション 20世紀フランス絵画展	2/5-4/4